



大すきいっぱい西北の子

～学びづくり、くらしづくり、仲間づくり～

令和5年10月2日
長崎市立西北小学校
文責：校長 江原芳樹
第5号

暑い9月が終わりました。

JRの線路沿いには、季節を間違えることなく彼岸花が真っ赤な花を開いていました。私たち人間は、カレンダーを見ながらお彼岸の頃を理解しますが、土の中でじっとこの季節を待っていた彼岸花は、どうして時を間違えることなく彼岸の頃を知り、顔を出すのか不思議です。何かしらを感じ取り、「今だ！」と勢いを増すのでしょうか。

秋の季語に「花野」があります。花のイメージは春が強いのですが、秋の方が花の種類は圧倒的に多いのです。ただ、秋の花は色が薄く、葉の裏に潜んでいるように咲く花や、比較的小さな花が多いため、春のイメージに負けているようです。

確かに秋がやってきています。「充実の秋」を西北小学校にかかわるすべての人たちと創り上げていきたいと願っています。

西北小学校の学力は

4月に学力調査を実施しました。

6年生は「全国学力学習状況調査(国語・算数)」及び「長崎県学力調査(理科)」に、5年生は「長崎県学力調査(国語・算数)」に、3・4年生は市販の「長崎市学力調査(国語・算数)」に取り組みました。

結果は以下のとおりです。

6年		西北小	市平均	県平均	全国平均
全国学力学習 状況調査	国語	71	67	66	67
	算数	70	63	60	63
県学力調査	理科	73	65	65	

5年		西北小	市平均	県平均
県学力調査	国語	75	69	69
	算数	78	70	70

4年		西北小	市平均	全国平均
市学力調査	国語	72	69	71
	算数	75	72	72

3年		西北小	市平均	全国平均
市学力調査	国語	74	70	73
	算数	77	76	75

どの学年も、概ね安定した学力であることが分かります。

西北小学校の授業の様子を見ていると、どの子どもも授業にしっかりと参加し、学習に

取り組んでいます。当然、学習の成果には差はありますが、学習から逃げようとしている子どもはほとんど見かけません。学習に向かう基本姿勢はしっかりと土台として身に付いているようです。その成果が今回の結果にはつながっていると感じています。

本校では、「学力向上」ではなく、「学習の質の向上」に重きをおいています。

これからの学習は、他者と協働的に考える力、対話しながら解決に向かっていく力が求められます。また、与えられた学習の取組だけでなく、家庭学習における自主学習の質の向上も必要であると考えています。

新しい体操服

令和6年度から、新しい体操服に1年かけて移行していきます。

これまでの西北小学校の体操服は、襟高なため、少し窮屈に感じている子どもが多かったようです。また、汗をよく吸収する一方で、乾燥しにくく肌にまとわりつきやすい面がありました。新しい体操服は、「抗菌防臭・吸汗速乾・UVカット」の機能があります。素材は、「ポリエステル80%、綿20%」です。熱中症対策としてもその効果を期待しています。

令和6年度入学の1年生は入学時に購入します。他の学年は、必要に応じて購入してください。1年間は、これまでの体操服と併用していきます。詳しい購入については、改めてお知らせします。

首もとがスッカリとしています。乾燥が早く夜洗濯しても朝には乾いているそうです。



《校長散歩道 No.5》

子どもにとって学校が「楽しい場」であってほしいと願うのは、保護者や教師だけでなく、地域の方をはじめ、多くの大人の願いだと思います。

さて、「楽しい」という字、一文字だけにすると「楽(らく)」となります。「楽をする」「楽をしている」という使い方をすると、どうもよいイメージがありません。「楽しい」とのニュアンスの違いを感じてしまいます。

どうして、『楽しい』と『楽(らく)』が同じ漢字なのか調べてみました。

私が「なるほど」と合点がいったのは次のような説明です。

「楽しい」という本来の意味は、それまでできなかったことや、努力したり、がんばったりしないとできなかったことが、続けて取り組んでいるうちに、あまり努力を要しなくても「楽(らく)」にできるようになることだということです。

できなかったこと、できるように努力していたことが、繰り返し取り組むことで身に付き、あまり努力しなくても当たり前のようにできるようになったとき、本当の「楽しい」と言えるようです。

となると、「楽しい」の反対語は「つまらない」ではなく、「悔しい」となるのではないかと思います。できるように努力しているが、なかなか上達せずに「悔しい」ということです。

本物の楽しさのためには、本物の悔しさも不可欠であるのだと考えているところです。